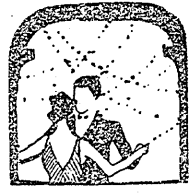


# 常磐每日新聞

定価 五銭 一月五拾銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞印刷局



創作 (4)

## 或る女

村瀬 忠夫

ダリ／＼照りつける太陽  
砂塵にまみれた樹木、涼  
風を追ふ、噴水の周りに  
群る子供達……

オアシスを求めて不忍の  
池の近くにあるテニール  
ルーム・マイネ・クライネ  
に二人に入った「ソーダ  
水くれ」「ハイ」と可愛  
らしい返事をしたのは、

一寸と塚君代に似て居た  
君代で無いもう一人の女  
がスバヤク見つけて「美  
奈子さんで無いこと、暫  
らくね」「アラツ千枝子  
さん此處に……」

「……」結局女性二人の  
會話で終始し折角しんみ  
り話しようと思つたが……

夕方で會社の退ける時間  
なので、それに名残りも  
つきぬので、三越でフラ  
ンス人形六圓七十錢で奮  
發してプレゼントとして夕  
食を共にし別れた。其時  
目に一ぱい涙を浮べて居

たのは早逃せなかつた。  
「御體御大切に」「御機  
嫌よう、又いつか會へる  
わね」「一日ほんとうに  
すみませんでした」

九月五日 水曜(雨)

夜 妹から以外の事件  
が露見しかつた昨日お  
兄さん、何處かのダンス  
らしい女と銀座一緒に  
歩いて居たんだすつて、  
三枝子さんが見つけてお  
兄さんと呼んだが、すま  
して振向きもせず腕を組  
んでサツサと歩いて行つ  
てしまつたつて。三枝子  
さん怒つていらつしやつ  
たわよ、非道いお兄さん  
全く人は見かけによらぬ  
のね、私の事ばかり何か

光一は美奈子から手紙を  
受取つてから返事も出さな  
かつたし、先方からも其後  
何の便りも無かつた。光一  
が美奈子に就いて知つて居  
る事は、――用舎は何でも  
岩手縣の水澤町から二里程  
離れた且村で豪農の一人娘  
だつたが、両親を早く亡く  
してたつた一人の祖父と二  
人で暮して居たが、運命の  
神は皮肉にも五年前彼女が  
十四の時にたつた一人の祖  
父をも奪ひ去つた、まして  
遠縁にあたる横濱の親類に  
引き取られたのである。そ  
して親類の財産は全部ど  
うなつたのかあるか無いか  
も美奈子には分なかつた。

【朝】清汁――白須干 わか  
め 小付 煮豆  
【晝】煮付 油揚 小付 し  
ほ芋  
【晚】かき揚 御飯井 浸し  
物ほうれん草 柚子酢  
に付け……道子、お  
前誤解してはしないか、  
確か入違ひだよ第一ダン  
スも出来ない僕がダンス  
ーと知り合ひになる筈無  
いでは無いか、夫れに昨  
日は原稿の種切りでとて  
も忙しかつたのだ、山路  
君でも聞えて御覽……と

言譯を言、たゞりし駭  
して來るので、急い  
を敷さもぐり込んだ。  
妹が歸つて來たらし日  
記帳を閉じる、ミシリ  
階段を一つづつ足音のす  
る、涼風は桐ノ葉から吹  
て來るらしい、明日は會社  
か、初枝、會へるな、欠伸  
を大きくした、途端腹が  
いて妹の顔の現れた。  
「今日は三枝子さん訪ねて  
來なかつた」白イブロンを  
外しながら話出した。  
「恐らく來なかつたらしい  
よ」「まあ眠りして居た  
の、呑氣ね」

時代の要求――皆様の足？

尼子タクシーへも豆タクが入りました

御立關から立關へ 迅速簡便  
是非御利用を

市内 三〇錢  
市外 四割引

流線型セダン  
大型貸切バス

宮行――直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします  
平町二丁目  
電話六四〇番

有給社員募集

一、地方擴張ノ爲男女十數名募集ス  
一、資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス  
一、但シ誠實奮闘家ヲ望ム 希望者ハ午前中當出張所へ面談アラレタシ

野村生命保險株式會社  
磐城出張所 平町長橋町四七  
主任 福島健之

食事・喫茶・酒場。を兼ねた  
佛蘭西  
御料理  
サロシ  
平・田町 電三五二番

新年お目出度うございます  
皆様 新年會だ忘す命だと飲み過ぎたり食ひ過ぎたりして胃腸を害されませんか。少しでも左様な微候願はれましたら明日と言はず……今すぐ……

靈効散 胃腸藥 を御試し下さい

大層能く効きます。外に三年五年と患ふ慢性胃腸病の全快した人も澤山あります。  
胃腸病、心臓病、脳、痔等も治ります。  
御望みの方には御試用として見本藥を阿康藥局で差上げます。御遠慮なく御來局下さい。他店では見本藥差上げません。是非左記へお出下さい。

平町古鍛冶町縣社ノ下  
處方箋調劑所 阿康藥局  
電話 四四番  
振替口座東京三〇二五番

御子様方には小兒靈効散があります

平町田町通電話六五六番

玉屋洋品店

花環 神佛葬具  
久壽玉  
御弔燈  
寶明燈  
靈柩自動車

造花  
は川新平  
屋本橋  
三六一電

# 陳情運動功を奏し 平商校新築

## 愈々十二年度年實現

### 最少限度で一時修繕保持

#### 近く豫算を計上して決定

平商業學校校舎新築は昨三  
日午後一時半町會議室に新  
築委員會を開き協議したが  
十二年度に於て愈々新築す  
ることに決定十二年迄現在  
の腐朽せる校舎を十一年度  
に於て最少限度の修繕費約  
千七、八百餘圓(前回二千  
二百圓)を以て一時應急的  
保持し土地買収に着手する  
ことになつたが

就へては土地買収の都合  
上豫想すら全然發表する  
ことに至つてゐないが  
大體一萬坪前後と見られ之  
に要する敷地買収費約二萬  
圓は十一年豫算に建設費約  
八萬圓は十二年度に於て計  
上されるものゝ如く愈々同  
校待望の校舎移轉並に新築  
は十二年度に於て實現され  
ることになり近く同校新築  
委員會を再開して熟議今月  
末の十一年度豫算町會に提  
出されることゝなつた

## 第二次凶作對策

### 縣町村工事決定

#### 道路並に橋梁夫々着工

平土木監督所管内第二次凶  
作對策縣工事並に町村工事  
は總計費約二萬七千二百餘  
圓で内譯左の如し

▲縣工事  
△道路三株勿來停車場道  
路(田人村外三ヶ村組合  
請負)三十九百圓 △上  
三坂半線(箕輪村地内)四  
千五百圓以上半度内竣工

△橋梁石川湯本線(石住  
村地内登知橋)△上三坂  
半線(澤渡村大瀧橋)以  
上入札未了  
▲町村工事(全部道路)  
△水戸箕輪地内三千四百  
圓 △上下小川地内五百  
圓 △三坂澤渡五千四百  
圓 △川前村大字上桶賣  
三千七百圓

## 補助交附

### 重油タンクに

江名信用販賣利用組合が總  
工費約五千六百餘圓で同町

## 純金の黒様は

### 果して誰の手に

今日縣社々頭豆撒きに  
お、物凄いな男女の波々々

(既報)平町福は内會主催  
恒例の豆撒きは今日四日午後  
一時から縣社子鐵倉神社境  
内で舉行九名の年男が例に  
依つて純金の黒様を撒く  
爲多數參詣人が本年の福運  
を指して血眼であつた小粒  
な豆の間から我れこそ金の  
幸運を拾はんと物凄いな緊  
張振りを見せてゐたが此の  
幸運の純金製大黒様は誰の  
手に入るものやら本稿締切  
りまでには判明しなかつた

## 賣上激増

### 今年のお正月

平郵便局で去月中、賣つた  
切手は四十三萬五千三百三  
十一枚、二萬、千五百五十七  
圓四十九錢、印紙は八萬四  
千五百十三枚、一萬八千九  
百六十二圓四十四錢、端書  
は二十九萬千六百四十一枚  
四十二百六十七圓三十八錢  
で昨年同期の正月に比し一  
割方激増した

讀方研究教授 平第  
二小學校は今日四日第二時間  
目に松本訓導の讀方研究教  
授を行ひ正午より同批評會  
を開いた

小名人工總會 小名  
濱町人工組合總會は去る二  
日組合長橋忠次氏宅で行

中之作埠頭に先般來着工大  
體完成近づいた重油タンク  
二百噸入れに就いては豫て  
農林省に補助申請中であつ  
たがこの程二千六百十一圓  
の補助金が交附された

## 平機關庫四氏

### 運轉手指導員

競技會成績の結果  
平機關庫の列車運轉手鈴木  
木、加藤、木村、川田の四  
氏は去月水戸運輸事務所  
管内で行はれた運轉競技會  
に出席し優秀な成績を挙げ  
たので水戸運輸事務所長よ  
り平機關庫運轉手の指導員  
に任命された

## 平第一校の 選舉作文

### 各家庭に配布

第二次選舉肅正強調の兒童  
作品中平第一小學校の作文

## 陸上競技は盤中

### 野球は依然福島

#### 待望の地元フアン失望

#### 中學校長會議で決定

縣下中學校長會議は今日四日  
より福島教育會館で開催小  
楡山磐中校長も出席したが  
地元野球フアン待望の縣下  
中等學校野球大會が平町に  
開催の件は地理及球場の点  
で反對多く昨年通り福島市  
内球場で舉行に決定し平町  
地方では磐中グラウンドで  
陸上競技、籠球、排球大會  
を舉行の筈

## 平町人事

### 回出生

△鎌田町五二 當時東京市  
足立區千住元明三〇小林  
隆雄氏二男久芳さん  
△五丁目一二 大竹久太  
氏三女芳子さん

### 平職業紹介所報告

回 人を求める方  
△旅館女中 卅才迄 給料  
五圓  
△女中 四十才迄 月給五  
圓

優秀作は左記兒童が選拔さ  
れ印刷の上各家庭に配布さ  
れた  
△(四年)草野昌平 藤居喜  
一郎(五年)牧野好夫  
△(六年)三井真一 小齋關  
龜山正邦 岩崎宏次郎  
(高一)竹村彌實(高二)  
渡邊忠正 増尾三郎

△飲食店雜役 廿才迄 月  
給五圓  
△柏人夫 卅才迄 月給  
十圓  
△小店員 廿才迄 月給五  
圓  
△漁業雜役 廿五才迄 月  
給十圓  
△精米店員 廿才迄 月給  
五圓  
△女工 廿才迄 月給七圓  
通勤三十錢  
△表具見習 廿才迄 年給  
三十圓  
△染洗見習 十八才 給料  
小仕着

回 職を求める方  
△人絹職工 三十才 高卒  
△人女工 廿五才 産婆  
學卒  
△紡績女工 十七才 尋卒  
△トラク助手 廿四才  
尋卒  
△女中 十九才 高卒  
△集金人 四十六才 高卒  
△事務員 十八才 高卒

△契中 四十才迄 給料七  
圓  
△トラク運轉手 三十才  
迄 月給四十圓 外住宅  
支給  
△雜役 廿五才迄 月給五  
十圓  
△豆腐賣子 卅才迄 給料  
歩合  
△配達 十七才迄月給四圓

外科 内臓外科 院長 安齊 徹  
光線科 新設

産婦人科 醫學士 黒澤 廣  
▽入院隨意△  
平町 田町  
安齊 醫院  
電話 四七五

和漆器家具は 和久井屋  
平町 電話 四七五

# ビールを飲酒中 青年あゝの世へ

## 昨夜南町のカフェーで

昨三日夜九時半頃南町南町  
カフェーパラダイス事久保  
田秀雄方ホールでビールを  
飲酒中の客が突然吐しゃし  
た上間もなく絶命した為め  
本署で検視したが一見労働  
者風ジャンパーを着た廿二  
三才位の男で手足は割に奇  
麗で労働者向きでなく何か

## 観梅のトップ

入山従業員百八十名が  
湯本町入山炭礦従業員百八  
十名は来る九日梅の都水戸  
地方へ観梅團のトップを切  
つて乗り込む事になった

## 使つて呉れとて まんまと白米詐欺

### 達者な農夫の一稼ぎ

永戸村大字渡戸農青木又吉  
(一)は昨年七月四日平町材  
木町二八薪炭商高田トヨ方  
を訪れて炭焼人夫として使  
つて呉れと頼み込み其の場  
で契約すると同時に賃は生  
活に窮してゐるからと巧妙  
に相談を持ちかけ使役賃金  
と差引く約束で現金六圓と  
白米一俵代金十二圓合計十  
八圓を持ち去つたまゝ高田  
方の仕事もせずその後再三  
の催促にも言を左右にして  
支拂はずトヨから詐欺横領  
で本署に告訴した

## 無事故局

郡内に十八局  
郡下郵便局で昨年六月より  
本年一月迄の下半期に取扱  
つた為替貯金事務の無事故  
局は本局の外郡内二等局  
左の如くである

## 名前を明さぬ 紳士の美譽

昨三日午前十一時頃平町警  
城訓官院を訪れて不自由な

災害工事入札 平土  
木監督所は七日午前中左記  
災害道路工事の入札を行ふ  
△上三坂半線(好間村々  
内五ヶ所)△四倉小野新

生徒さん達 差上げて下さ  
いと男女盲人卅餘名に一足  
宛の足袋を寄贈し名前を秘  
して語らぬ奇特な紳士風の  
男があつたか

## 探娘は 倫落の闇に

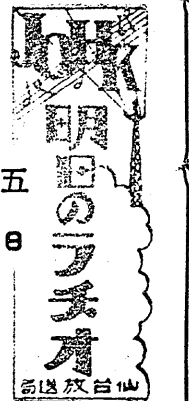
父性の愛は歎く  
青森縣西郡川崎町今市農江  
良萬年之助(七)は十年前一  
人娘のより子當時十五才が  
同町氏名不詳のやくざに誘  
拐され行方不明になつた為  
爾來神佛に願をかけ行方を  
捜査してゐた處昨年十二月  
平局の消印ある葉書で苦界  
に身を沈めてゐる旨の便り  
あつた為め萬年之助一家は  
飛び立つ思ひで平署に捜査  
願を出して来たか同情した  
平署が取調べの結果

## 村内二百戸に 国旗を贈る

### 永戸村助役の篤志

本郡山間部地方には国旗を  
持たない家庭が多く村當局  
では小学校消防組青年團在  
郷軍人分會等と共に普及に  
努めつゝあるが凶作が禍し  
て眞に購入の力なき氣の毒  
家庭もあるに鑑み永戸村  
輪組合村助役後備歩兵少尉  
阿部友陸氏は村内を隈なく  
調査したところ約二百戸の  
国旗を持たぬ家庭を發見し  
たので非常時の今日皇國の

民として誠に遺憾至極であ  
ると今回自費を以て購入配  
布し來る建國祭には全村漏  
れなく掲揚せしむる事とな  
つた一般からその奇特を激  
賞されてゐる



天 今晩は晴明日も  
同様に  
百瀬前  
朝の修養「阿  
彌陀經」(三)稲垣真我  
前九〇〇 家庭メモ  
前一〇〇〇 婦人講座  
「手紙の書き方」(七)  
木枝増  
後、〇五 獅子舞 阿部  
源吉也  
後、二〇 鳥追祭 秋田  
縣仙北郡神宮寺町有志  
後、二〇〇 婦人の時間  
「支那小説と、曲亭馬琴の  
作中の女性」尾上柴舟  
後、二四〇 小學高二國史  
の時間「交通機關の今昔」  
種畑雪湖  
後、二一〇 教師の時間  
「新訂高等小學唱歌第三  
館」△中之作村社

今晩の部  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「節分」加藤繁  
後六、二五 選挙講座(一)  
「選挙取締の目標」清水  
重夫  
後七、二五 オリズムピク  
日獨國際放送(オリムピ  
ック水ト選手挨拶と音楽  
(ドイツガルミッシュ))  
後八、〇〇 東西節分追繼  
同女は昨秋双葉郡木戸村  
飲食店相馬屋こと石川ま  
さ方から前借四百五十圓  
で平町南町料亭高橋とみ  
方に住替へ昨年十二月に  
三春町大町村上食堂に轉  
じたこと判つたので同署  
では此の旨萬年之助方へ  
知らせてやつた

## 里方の年始歸りに 新妻謎の家出

### まかれた婚殿青くなる

平町新川池田留之助三女  
すみ子(一)は去月十七日錦  
村昭和人絹職工高橋喜作  
(三)と婿に取り廿七日夫婦  
で里方へ年始に行く途中す  
み子は夫をまいて姿を晦ま  
したが夫婦仲も好く何が原  
因か家出したものやら判り  
ませぬと青くなつた喜作か  
ら平署へ捜査方願ひ出た

## 新院長を迎へ 共済病院改革

### 名稱も近く變更す

平町共済病院は經營難で永  
らく院長缺員中であつたが  
今回東北帝大醫學部出身の  
少壯の醫學博士高橋源之氏  
(三)が着任内部の統一を計  
ると同時に外部的飛躍を意  
圖して平安病院と改稱する  
ことになり目下手續中であ  
る

因に同博士は宮城縣刈田  
郡小源村の出身で昭和三  
年三月東北帝大醫學部卒  
業、直ちに關口外科研究

看護婦急派  
求めに應じ  
ます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七  
上田病院  
平町南町  
電話二二九番



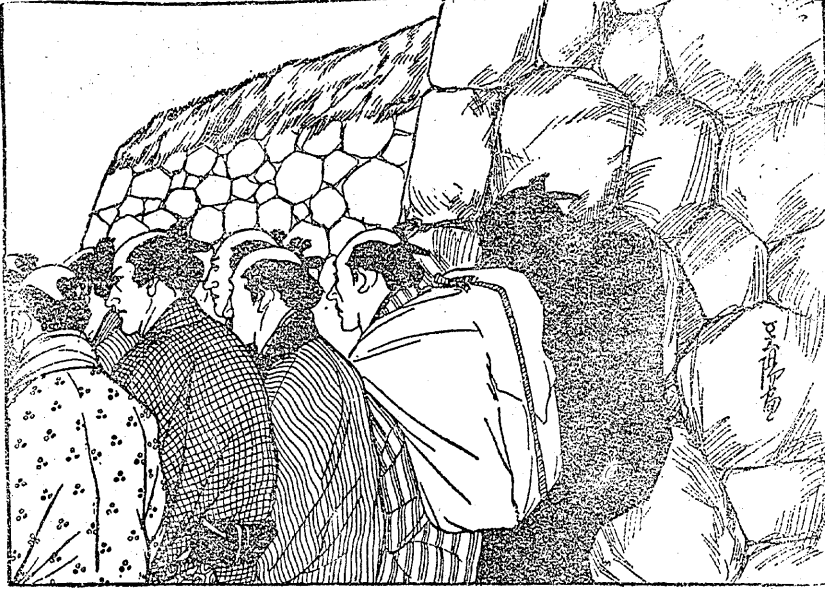


瓦解の謎

三九 祝日の登城 細谷忠齋、相馬千之助、三島三郎、澤田儀助、吉田政助、豊島邦之助、高畑萬藏、内田萬之助等の浪士は、國家のためかつは幕府のため、老中安藤對馬守を討たむと決心して、その時日は正月の十五日、場所は坂下門と決議したこの頃安藤對馬守は病氣であつて西九下の官邸には居らず、濱町川岸の屋敷に居つたが、幸ひ病もおこたりし故今日は登城いたさうと仕度して濱町川岸の屋敷を出る祝日のことと見付々は混雑して居る、それは大名の登城を昇物する者が多いため、また下座見といつて見付へかゝる大名の伊達道具これは槍または挾箱のことを申すが、その伊達道具を見て

△「それは何者だ」 △「稲荷様だアなね、金比羅坂にまつてある正一位甚兵衛稲荷さ」 △「何をいふんだえ、稲荷様と加賀様とは違ふよ、爪折笠、槍か二本、挾箱は金紋だ、御定紋は梅鉢だよ、御先祖は菅原の道真公、今の殿様の御内室は十一代將軍様のお姫様だ、下屏敷は深川に板橋中屋敷の染井、それは大したものだ、お庭には木曾街道六十九次の景色を採り入れてある、菩提所はこれも下谷の廣徳寺に來た〜、今度お出なすつたは松平出羽守様、越前様の御分家公方様の御親類だから御家門だよ、御家門といふのは御親類のことといふのだ、表高は十八萬六千石、雲州島根郡松江の御城、主江戸から二百廿三里ある、お上屋敷は赤坂

これら加賀殿といつて江戸の名物の一つだよ ○「ハテナ、加賀様からとんびが飛び出して火を消すかのう」 △「オイ何をいひなさる、加賀殿といつても油揚をさらう意ではないよ、江戸では火消のことを意のものとひます」 ○「ハテナ、さうかのう、フム、加賀様はトビの頭をしゝるなさるか」 △「お前がたも判らねえな殿様は位は従三位だ、三位



△「今こゝへお出なすつたは會津様だ、岩代岩松の御城主で表高は廿二萬石、殿様は肥後守とおつしやつしその御内室は加賀様の御姫様、公方様の御親類で御紋は葵、お上屋敷は和田倉御門の中だ、下屏敷は赤坂御門外と麻布の廣尾、御菩提所は下谷の廣徳寺、御宗首

△「それ、今度お出なすつたは會津様だ、岩代岩松の御城主で表高は廿二萬石、殿様は肥後守とおつしやつしその御内室は加賀様の御姫様、公方様の御親類で御紋は葵、お上屋敷は和田倉御門の中だ、下屏敷は赤坂御門外と麻布の廣尾、御菩提所は下谷の廣徳寺、御宗首

御門内、中屋敷に青山の今井町、下が麴川六丁目と品川の大崎 ○「大層屋敷をもつてゐなさるな草を取るに骨が折れるであらう」 △「馬鹿なことを言ひなさんな、十八萬石の殿様が草むしりなどをするものか、河内山宗俊の講釋で名の高いお屏敷だ、御内室は松平肥前守様の御娘御だ」 ○「お立派なお供方だな」 △「挾箱は金紋の葵だよ、代紋は五三の桐だ」 ○「成程五三の桐だ、石川右衛門の紋も五三の桐だが、出羽様の先祖は五右衛門かね」 △「呆れたなこの人には大名の先祖、石川五右衛門などはなす」としきりに説明してゐます。

磐城セメント會社特約店 久谷屋 良品廉賣に勝る商略なし 確實敏捷は人の生命なり 磐城平町五丁目 電話九・九九番

胃腸病科 松村性醫院 胃腸病科 皮膚科 花柳病科 性病科 阿部石炭店

吸入用酸素純度 99% 体温計 寒暖計 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内藥局 電話四〇番 寫真材料一式販賣致シマス

石炭 コークス 豆炭 阿部石炭店 電話十七三番

桑原柔道整骨院 電話六七四